

令和7年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	構成事業	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
1	川口市	川口市立美術館開館記念特別展事業	開館前に市内ショッピングモール等でのワークショップ等のイベントの開催及びSNS等を活用したプロモーションを実施する。	ソフト	来館者数、チケット販売データ及び来館者のトラッキングとカウントによる。	0人	8万人			令和9年度検証予定
2	蕨市	「日本のコンパクトシティが健康づくりの舞台へスマートウェルネスシティ推進事業」	ウォーキングコースの道路標示、公園への健康道具の設置、ウォーキングイベントの実施など、日本のコンパクトシティを生き、住むことで健康になるまち「スマートウェルネスシティ」を実現する。	ハード	ウォーキングに取り組む市民、コパトALKOOマイレージ登録者数。	1,663人	2,000人			検証中
3	和光市	「ウェルネス(心身と社会的な健康)・リチャージ(リフレッシュする時間) WAKO PARKS」～利用環境を改善し憩いの公園へ～	「トイレ改修多機能化・夏期日除け設置」の実施により、公園利用者の増加・満足度向上に寄与する。また、「公園サポート一覧表」の実施により、市民全体の公園愛護に対する意識向上や市民協働によるまちづくりを推進していく。	ハード	対象公園の満足度	32%	70%			令和8年度検証予定
4	新座市	新座市制施行55周年記念『東京都に半分食い込む新座』の魅力発信プロジェクト	令和7年度に市制施行55周年を迎えるのを好機として、市民と共に祝い、市民の市への愛着や誇り(シビックプライド)を醸成するとともに、市の認知度を向上させる記念事業を実施する。	ソフト	市公式LINEの登録者数	7,341人	9,000人			令和8年度検証予定
5	三芳町	「子育て・子育てで・子育て」子どもにやさしいまちづくり事業	令和6年12月にユニセフの「日本型CFCI候補自治体」として認定され、同月に「子どもの権利に関する条例」を制定した。それに基づき、「子育て」「子育てで」「子育て」の3つを軸にした事業を進め、子どもたちが積極的に町に関心を持ち、安心して子育てができる町を作る。	ソフト	子どもの権利の認知度	11.60%	50%			令和8年度検証予定
6	春日部市	観光ネットワーク型中心市街地官民連携まちづくり事業	地域住民や企業を巻き込み、人材発掘やスキルアップセミナーの実施、資源確保の検討などを通して、地域活性化を推進するためのエリアプラットフォームを構築	ソフト	設問「今後のまちづくりに関わりたいと思いませんか」に対して、関わりたい、機会があれば関わりたいと回答した人の割合	-	70%			令和9年度検証予定
7	春日部市	春日部市制施行20周年記念魅力発信事業	春日部市ゆかりの人気アニメ「クレヨンしんちゃん」を活用し、魅力あるイベントの開催を通じて、市内内外の認知度向上を図りシビックプライドを醸成	ソフト	春日部市制施行20周年記念「クレヨンしんちゃん絵はがきイラスト展示」満足度アンケート満足度での満足度	-	80%以上			検証中
8	草加市	インクルーシブ遊具設置工事	利便性の向上、魅力的な公園を目指し、障がいの有無や年齢、性別などを問わず、子どもたちが楽しめるインクルーシブ遊具の設置	ハード	第4次草加市総合振興計画に基づく緑の保全と公園の再生・活性化の満足度	45.4%	48.4%			令和8年度検証予定
9	草加市	～SDGsパートナーズmeet次世代～持続可能なまちづくり事業	SDGsパートナー登録企業・団体・大学等と連携し、こどもたちが持続可能なまちづくりを学ぶプログラムを構築	ソフト	SDGsパートナーズとSDGsチャレンジアカデミー受講生が連携して提案したSDGsを通じて持続可能なまちづくりにつながる取組の事業化数	-	5			令和8年度検証予定
10	草加市	既存公園等利活用事業	町会や住民、利用希望団体と意見交換し、既存小規模公園を利活用。維持管理や運営の一部を利用者が担う仕組みも調整	ハード	第4次草加市総合振興計画に基づく緑の保全と公園の再生・活性化の満足度	45.4%	48.4%			令和8年度検証予定
11	越谷市	若者世代・現役世代とまちとの関わりの創出事業	市民ワークショップで地域のつながりを深め、魅力を発信。市民主体で価値をカタチにし、イベントやSNSなどで共感を広げる情報発信を推進	ソフト	若者世代・現役世代の修正地域総参画量(mGAP)	-2424.2	数値の継続的な上昇			令和8年度検証予定
12	三郷市	南部地域拠点防災コミュニティ施設体験学習展示製作事業	「(仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設」に防災体験学習に係る展示設備を製作・展示(2か年事業の2年目)	ハード	施設見学者数	-	21,000人			令和10年度検証予定
13	吉川市	大沢雄一元埼玉県知事邸跡地公園整備事業	元埼玉県知事・大沢雄一氏の邸宅跡地を「自然を身近に感じる地域の憩いの場」、「自然と触れ合える環境教育の場」、「自然を生かした子ども向けの公園」をコンセプトとした三輪野江地区初の公園として整備	ハード	来園者の公園整備に対する満足度	-	70%			令和8年度検証予定
14	鴻巣市	世界に羽ばたくこうのとりSDGs推進事業	SDGs推進のシンボルである「こうのとり」に関する取組を行い、SDGs未来都市を具現化する。	ソフト	SDGsに取り組んでいる市民の割合	新規取得	新規取得 +5ポイント			令和8年度検証予定
15	桶川市	市制施行55周年記念事業～過去と今、そして平和な未来へ～	市内周遊促進事業、平和への周年事業等を実施する。	ソフト	桶川飛行学校平和祈念館の年間来館者数	令和6年度 9,021人	令和7年度 10,000人			令和8年度検証予定
16	鶴ヶ島市	子育てふれあい駅前公園づくり事業	公園づくりワークショップで寄せられた意見を踏まえた公園整備をすることで、シビックプライドの醸成につながるとともに、公園を拠点とした少子化対策や高齢者の健康増進に取り組む。	ハード	ワークショップ参加者等の満足度	0%	70%			令和9年度検証予定
17	鶴ヶ島市	つるがしまじティブブランディング推進事業	シティプロモーションサイトの開設や動画コンテンツの制作など様々なプロモーション手段を構築するとともに、専門的な知見や市民意見等を取り入れながら戦略的なシティブランディングに取り組む。	ソフト	シティプロモーションサイトへのアクセス数	0件	5,000件			令和8年度検証予定
18	毛呂山町	ウォーキングを軸とした町の魅力発信事業	「ゆずの里健幸ウォーク」「鎌倉街道健幸ウォーク」という2つのウォーキング事業の実施に伴い、町の魅力を町内外に発信することで、郷土を知ることによるシビックプライドの醸成、観光客の増加に伴う地域の活性化に繋げ、町の賑わい創出を図る。	ソフト	入込観光客数	48.3万人	49.7万人			令和8年度検証予定
19	越生町	越生町お話し住宅整備事業	梅園地域の空き家を取壊し、建物リフォームすることで、「お話し住宅(仮称)うめその」として活用を図る。	ハード	お話し住宅利用人数	0人	20人			令和10年度検証予定
20	滑川町	滑川町地域交流施設整備事業	滑川町コミュニティセンターの令和9年度開設を目指し、実施設計を行う。	ソフト	コミュニティセンター年間利用者数	20,523人	45,000人			令和11年度検証予定

21	小川町	小川町道の駅とタイアップした町内ビジネス促進事業	異なる企業支援段階における施策を、道の駅とタイアップしつつ実施する。	ソフト	創業者数	7人	10人			令和8年度検証予定
22	川島町	川島町地域おこし協力隊事業①(R6-8)	地域ブランド品の販路とる誘客能力の強化を図るとともに、体験型観光プログラムの充実を図る。	ソフト	交流人口	47,765人	65,000人			令和9年度検証予定
23	川島町	川島町地域おこし協力隊事業②(R7-9)	地域事業者間のコーディネーター役として、来訪者を呼びこめる観光誘客事業に取り組み。	ソフト	観光誘客事業実施数	-	4件			令和9年度検証予定
24	吉見町	フレンドシップ・ハイウェイよしみを起点とした外国人観光客の集客向上事業	①里山環境の景観に調和したサイン(看板)設置等整備事業 ②里山保全環境整備事業	ハード	フレンドシップハイウェイよしみ外国人を含む宿泊客数(月間)	1,514人	1,740人			令和9年度検証予定
25	行田市	行田花手水と連動した商店街の回遊及び消費促進事業	映える魅力的な飲食関連商品を創出したうえで、「行田花手水week」等と連動した「商店街食べ飲み歩き企画」を実施し、商店街をはじめとしたまちなかへの人の流れを創り、消費促進に繋げ、活性化を図る。	ソフト	令和7年度中心市街地入込客数	435,000人	457,000人			検証中
26	加須市	かぞ見どころQRガイドの作成による観光DXの推進事業	観光スポットの紹介に加え、GPS連動マップや多言語機能を備えた、スマートフォンで手軽に利用できる「かぞ見どころQRガイド」を作成し、観光DXの推進を図るとともに、同ガイドのPRチラシを配布・配発することで効果的な観光PRを推進する。	ソフト	観光入込客数	434,552人	438,900人			令和8年度検証予定
27	白岡市	買物バスでささえあい地域の魅力向上事業	高齢者の買い物に係る移送支援を行うことで、外出機会の創出や介護・認知症予防を図るとともに、交通利便性の向上や地域コミュニティの輪づくりを促進し、さらなる地域の魅力向上につなげる。	ソフト	1か月間の平均利用者数	-	70人			令和8年度検証予定
28	幸手市	幸手市地域おこし協力隊設置事業(継続)	地域おこし協力隊員に対し、独立就農に向けた生産技術の習得のための農業研修及び農産物のPR活動等に従事させることにより、地域農業の担い手の確保、新たな農地利用による道休農地の解消並びに地域活性化の促進を図る。	ソフト	幸手産農産物のPRイベントへの参加回数	1回	4回			令和9年度検証予定
29	幸手市	幸手市地域おこし協力隊設置事業(新規)	地域おこし協力隊を任用し、市内農家及びJAとの協力体制の下、独立就農に向けた農業研修をはじめ、有機農業の栽培面積の拡大に資する除草作業や有機農産物のPR活動などに従事させることにより、有機農業の担い手の確保及び地域活性化の促進を図る。	ソフト	有機農業の栽培面積	0ha	2ha			令和9年度検証予定
30	幸手市	埼玉県内初 市制施行40周年記念オリジナル映画製作を通じた魅力創出発信事業	令和8年の市制施行40周年記念事業として、幸手市を舞台としたオリジナル映画を地域住民と協働で製作し、全国の劇場で公開する。地域産品を使用したオリジナル料理を映画に登場させ、地域の新たな名物・特産品とする。	ソフト	映画を観賞した人の数	0人	10,000人			令和9年度検証予定
31	宮代町	地下道で宮代町の魅力を発信！百間・和戸地下道リニューアル事業	地下道の内部リバイント、照明のLED化、小学生からの町に関する絵画の募集及び地下道での展示	ハード	地下道が宮代町の魅力発信の場となったか。	-	70%			検証中
32	寄居町	水辺空間活用事業(水辺deベンチャーチャレンジ)	道路の向かい側にしかトイレがないため、河原側にキャンプ場のサブトイレ(可動式トイレ)を設置する。	ハード	入込観光客数	77万人	130万人			令和9年度検証予定
33	寄居町	寄居町地域おこし協力隊事業	町内に移住した方、創業した方に向けたフォローアップイベントや移住セミナー等を開催する。	ソフト	移住・創業に関する相談者数	23人/年	30人/年			令和8年度検証予定
34	寄居町	寄居町合併70周年記念事業	70周年記念事業(防災イベントや記念誌の発行、児童生徒の参加する人文字2次元コード作成イベント等)を実施する。	ソフト	町HPアクセス数・防災イベント参加者数	防災イベント-100人 町HPアクセス数(令和6年4月からの件数)-62万件	防災イベント-500人 町HPアクセス数(令和7年4月からの件数)-78万件			令和8年度検証予定
35	本庄市	中山道本庄宿町並み保存啓発事業	本庄宿の町並み(建造物や地割など)の現状把握調査を行い、価値を再確認してもらうための本庄宿町歩きやシンポジウム等の市民向けイベントを実施する。	ソフト	中山道本庄宿の文化的価値を認め、保存活用する重要性の理解度	-	70%			R8年度検証予定
36	本庄市	本庄産あまりんPR推進事業	イベントや飲食店等であまりんスイーツを食べられる「あまりんを食す仕組み作り」を行うことで、「本庄産あまりん」の認知度・ブランド力向上を図る。	ソフト	本庄産あまりんの認知度	7割	8割			R8年度検証予定
37	美里町	ミムリン健康×コミュニティ創出事業	健康無関心層へ「楽しさ」を切り口とした事業を実施し、運動機能及びヘルスリテラシー向上を図る。また、自主グループ活動に繋がるよう後方支援組織を組成する。	ソフト	健康無関心層の事業参加人数	-	100人			R8年度検証予定
38	神川町	町営バス路線が繁く体験・交流型拠点施設ネットワーク事業	町営バスの利便性や魅力を満載したPR動画を作成し、SNSや大手検索サイトで拡散するとともに、町営バス路線上にステーションを実施。道のオアシス神楽にある観光案内所の機能をAIを取り入れた情報通信技術(LICT)を活用して、発展拡充する。多目的交流施設(R5年度済)と城家公園キャンプサイトの整備(R7-8年度予定)と併せて、ネットワーク化を図っていく。	ハード	観光案内所の利用者数	5,157人	6,704人			R9年度検証予定
39	神川町	就労支援を通じた少子化対策事業	セミナーの受講により在宅ワーク等に取り組むための基礎スキルを取得し、キャリアカウンセリングの実施により、受講者のライフスタイルに適した就労をサポートする。	ソフト	参加者のうち就労に繋がった人数の割合	-	50%			R8年度検証予定
40	上里町	駅北まちづくり活動支援事業	空き家を活用したチャレンジショップや空き家、空き地でイベントを行うための空間づくりを検討するワークショップを実施する。また、ワークショップで検討した内容を民間主催のイベントとして実践する。	ソフト	民間主催のイベント来場者数	110人	300人			R8年度検証予定

41	秋田市	全国植樹祭記念事業	植樹祭当日、市内中心部の3か所で秋日夜祭・川瀬祭の笠鉾・屋台の飾り置きを実施する。	ソフト	令和7年の川瀬祭(7月19・20日)・秋父祭(12月2・3日)の入込観光客数	OR6年度7月 川瀬祭 9.4万人 12月 秋父祭 25.7万人	OR7年度7月 川瀬祭 10.0万人 12月 秋父祭 26.0万人			R8年度検証予定
42	横瀬町	ウォーターパーク・シラヤマ施設整備事業	新たな遊具の設置や年齢別のエリア分け等を行い、幅広い年齢層の子供が安全に遊べる公園を整備する。	ハード	ウォーターパーク・シラヤマの利用人数	年間8,200人	年間14,000人			R9年度検証予定
43	横瀬町	ウォーターパーク・シラヤマ及びその周辺の横瀬川整備事業	県の河川施設整備と併せて、右岸・左岸公園を結ぶ人道橋・休憩施設の設置、右岸公園の多目的広場への改修を行う。	ハード	ウォーターパーク・シラヤマ及びその周辺の横瀬川の利用人数	年間8,600人	年間14,000人			R9年度検証予定
44	横瀬町	お仕事付きお試し移住事業	移住サポート拠点を整備するとともに、移住検討者等が一定期間町内に滞在し、人材不足等の課題を持つ地域の事業者で就業しながら地域住民と交流するプログラムを実施。	ハード	①移住・二地域居住希望者が2週間～1ヶ月の期間で町内に滞在し、人材不足等に課題を持つ地域の事業者でのスポットワークを実施する人の数 ②スポットワークを受け入れる企業の数 ③移住相談件数	①0人②0社③0人	①20人②4社③100人			R8年度検証予定
45	皆野町	皆野・長瀬両道企画「デジタルスタンプラリー」事業	観光客の皆野・長瀬エリアの回遊促進企画として、スマートフォンやモバイル端末で電子スタンプを集めながら、指定のスポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。	ソフト	皆野町観光協会公式Instagramのフォロー数	1,359人	1,440人			検証中